

2026年3月期第1四半期 決算補足説明資料

京浜急行電鉄株式会社（証券コード：9006）

2025年8月6日

<https://www.keikyu.co.jp>



株式会社JPX総研および株式会社日本経済新聞社が算出する「JPX日経インデックス400」の2024年度（2024年8月30日～2025年8月28日）の構成銘柄に当社が選定されました。

I . エグゼクティブ・サマリー	P. 3
II . 2026年3月期 第1四半期決算実績	P. 5
III . 2026年3月期 業績予想（変更なし・再掲）	P. 20
Appendix - 京急品川開発プロジェクトの進捗	P. 29

I . エグゼクティブ・サマリー	P. 3
II . 2026年3月期 第1四半期決算実績	P. 5
III . 2026年3月期 業績予想（変更なし・再掲）	P. 20
Appendix - 京急品川開発プロジェクトの進捗	P. 29

対前年同期（対2024年度）

- 交通事業やレジャー・サービス事業が好調に推移して**増収**となったものの、前年同期の不動産事業用地の売却の反動により**減益**
- 前年同期の長野京急カントリークラブ事業の譲渡決議に伴う税効果（約20億円）の反動により、親会社株主に帰属する四半期純利益は、**減益**

通期見通しに対する進捗

- 営業収益は、ビジネスホテル業や流通事業の単価増などにより、**+ 5 億円上振れ**
- 営業利益は、一部事業の費用期ずれなどにより、**+ 9 億円上振れ**

1 Qのトピックス

- 「（仮称）品川駅西口地区A地区（高輪3丁目）新築計画」を着工し、品川開発プロジェクトが本格始動（P30参照）
- 多様化する宿泊ニーズに応え、宿泊単価増を図るため、5月から「京急 E X ホテル 高輪」を改装休業（2026年3月リニューアルオープン予定）
- 自己株式 約62億円を取得（2025年7月31日現在／2025年度 100億円取得予定）
- 業績および株価に対する意識をさらに高め、持続的に企業価値を向上させるため、経営職に対して株式給付信託（J－E S O P）を導入決定

	(単位：億円)		
	通期見通し	2025年度 1 Q	進捗率
営業収益	3,050	731	24.0%
営業利益	300	85	28.4%
経常利益	245	78	32.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	233	54	23.3%

	(単位：億円)		
	2025年 3 月末	2025年 6 月末	増減額
総 資 産	10,397	10,505	+108
負債合計	6,671	6,723	+51
純資産合計	3,725	3,782	+56
純有利子負債残高	3,998	4,239	+241
自己資本比率	35.7%	35.9%	+0.2pt.

I . エグゼクティブ・サマリー	P. 3
II . 2026年3月期 第1四半期決算実績	P. 5
III . 2026年3月期 業績予想（変更なし・再掲）	P. 20
Appendix - 京急品川開発プロジェクトの進捗	P. 29

(単位：百万円)

	2024年度 1 Q	2025年度 1 Q	増減額	増減率	通期見通し	進捗率
営 業 収 益	72,860	73,118	+258	+0.4%	305,000	24.0%
営 業 利 益	8,709	8,532	△177	△2.0%	30,000	28.4%
経 常 利 益	8,523	7,882	△640	△7.5%	24,500	32.2%
親会社株主に帰属する 四 半 期 純 利 益	6,895	5,425	△1,469	△21.3%	23,300	23.3%

(単位：百万円)

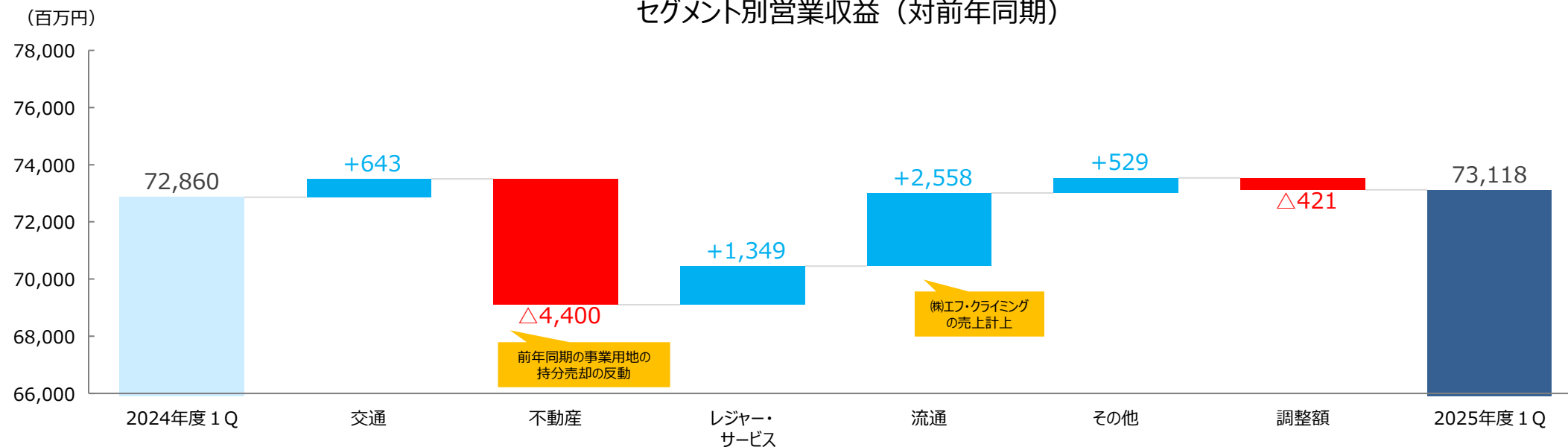
	2024年度 1 Q	2025年度 1 Q	増減額		2025年度 1 Q	通期見通し
1 株 当 た り 四 半 期 純 利 益	25.09円	19.86円	△5.23円	設備投資額	20,800	142,188
				(うち、不動産流動化 SPC出資)	(6,870)	(12,894)
				減価償却費	6,928	29,434

（単位：百万円）

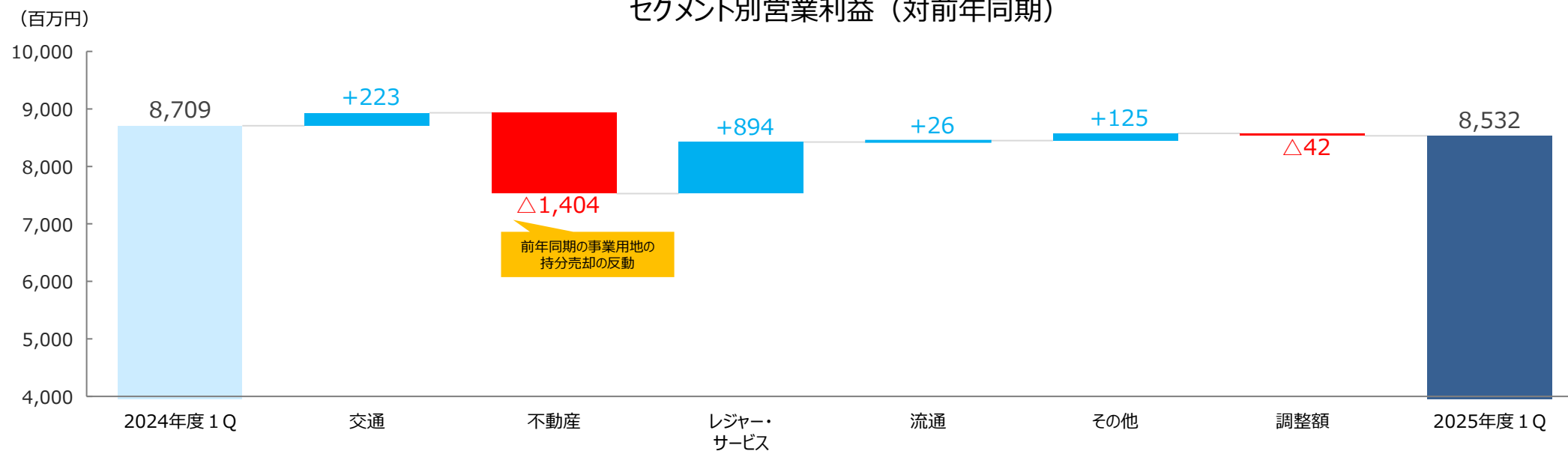
		2024年度 1 Q	2025年度 1 Q	増減額	増減率	通期見通し	進捗率
交 通 事 業	営 業 収 益	29,581	30,224	+643	+2.2%	121,000	25.0%
	営 業 利 益	4,872	5,095	+223	+4.6%	16,900	30.2%
不 動 産 事 業	営 業 収 益	16,573	12,173	△4,400	△26.6%	55,700	21.9%
	営 業 利 益	2,243	838	△1,404	△62.6%	6,100	13.7%
レ ジ ャ ー ・ サ ー ビ ス 事 業	営 業 収 益	7,393	8,742	+1,349	+18.2%	32,700	26.7%
	営 業 利 益	908	1,802	+894	+98.4%	3,700	48.7%
流 通 事 業	営 業 収 益	18,341	20,900	+2,558	+14.0%	84,800	24.6%
	営 業 利 益	577	604	+26	+4.6%	1,700	35.5%
そ の 他	営 業 収 益	7,273	7,802	+529	+7.3%	52,700	14.8%
	営 業 利 益	0	125	+125	—	2,400	5.2%

セグメント別営業収益・営業利益の増減

セグメント別営業収益（対前年同期）



セグメント別営業利益（対前年同期）



【主な増減理由】

	対前年同期	通期見通しに対する進捗
営業収益	鉄道事業： 移動需要の拡大および羽田空港輸送の好調による増 バス事業： 一般路線等での運賃改定による増	－
営業利益	－	－

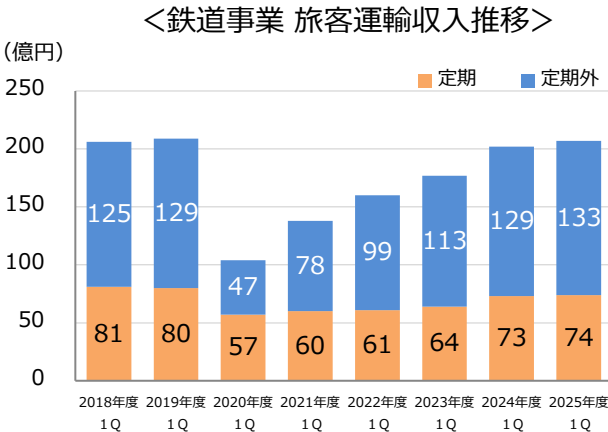
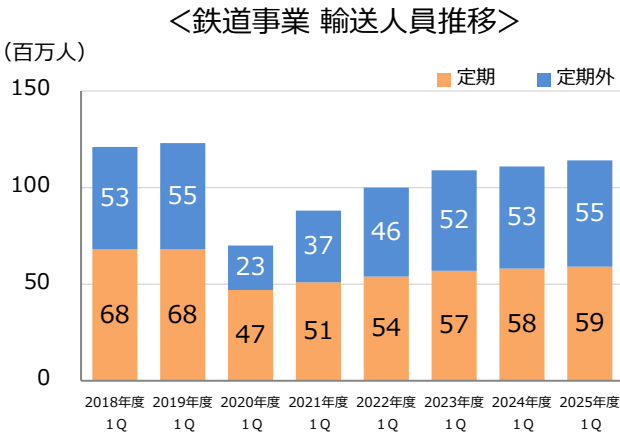
(単位：百万円)

	2024年度 1 Q	2025年度 1 Q	増減額	増減率	通期見通し	進捗率
営業収益	29,581	30,224	+643	+2.2%	121,000	25.0%
鉄 道 事 業	20,927	21,362	+435	+2.1%	85,500	25.0%
バ ス 事 業	7,728	7,965	+236	+3.1%	31,600	25.2%
タ ク シ ー 事 業	925	897	△28	△3.1%	3,900	23.0%
営業利益	4,872	5,095	+223	+4.6%	16,900	30.2%
鉄 道 事 業	4,447	4,579	+132	+3.0%	15,000	30.5%
バ ス 事 業	475	580	+105	+22.1%	2,000	29.0%
タ ク シ ー 事 業	△50	△64	△14	－	△100	－

<鉄道事業の輸送人員・旅客運輸収入の内訳>

(単位：千人)						(単位：百万人)	
輸送人員							
	2024年度 1 Q	2025年度 1 Q	増減額	増減率		通期見通し	進捗率
定期	58,866	59,899	+1,033	+1.8%		231	25.9%
定期外	53,888	55,474	+1,586	+2.9%		223	24.8%
合計	112,754	115,373	+2,619	+2.3%		454	25.4%

(単位：百万円)						(単位：億円)	
旅客運輸収入							
	2024年度 1 Q	2025年度 1 Q	増減額	増減率		通期見通し	進捗率
定期	7,337	7,459	+122	+1.7%		294	25.3%
定期外	12,973	13,341	+367	+2.8%		535	24.9%
合計	20,311	20,801	+489	+2.4%		830	25.0%

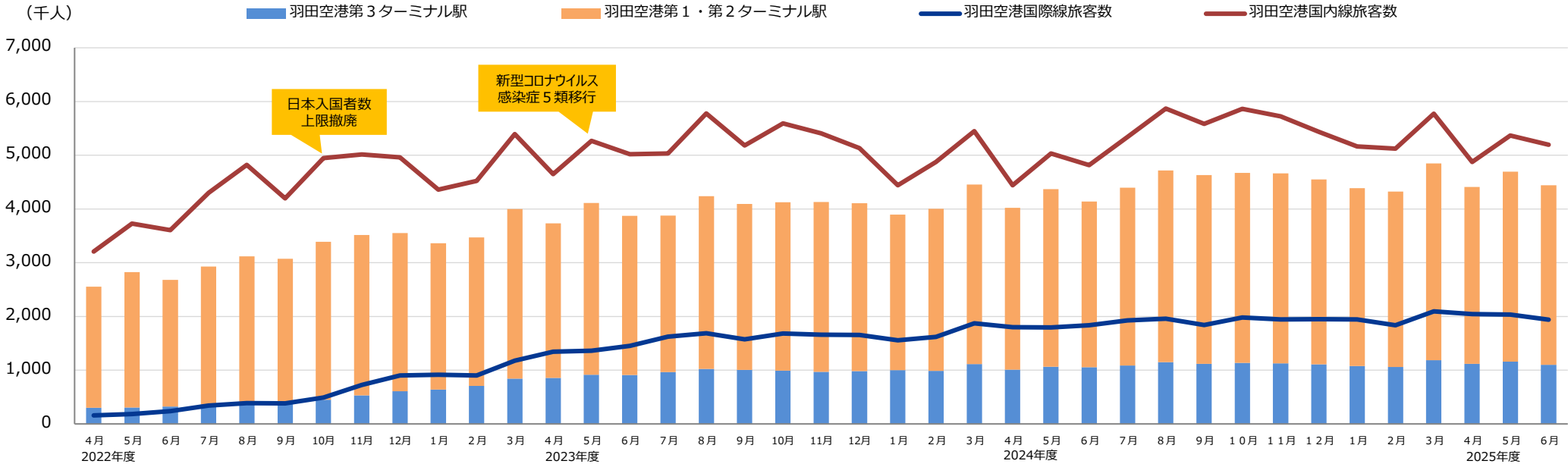


<鉄道事業 主な営業費>				(単位：百万円)
	2024年度 1 Q	2025年度 1 Q	増減額	
人件費	5,071	5,431	+360	
電気動力費	1,112	1,200	+88	
修繕工事費	1,123	1,033	△89	
固定資産除却費	98	103	+4	
減価償却費	4,154	4,148	△5	

＜羽田空港 2 駅の輸送人員＞

	(単位：千人)				(単位：百万人)	
	輸送人員				通期見通し	進捗率
	2024年度 1 Q	2025年度 1 Q	増減額	増減率		
羽田空港第 1・第 2 ターミナル駅	9,401	10,170	+769	+8.2%	42	24.0%
羽田空港第 3 ターミナル駅	3,129	3,374	+245	+7.8%	14	23.3%
合 計	12,530	13,544	+1,014	+8.1%	56	23.8%

＜羽田空港 2 駅の月別輸送人員推移＞



※羽田空港旅客数は以下から作成
・国土交通省 東京航空局「管内空港の利用状況」(<https://www.cab.mlit.go.jp/tcab/statistics/01.html>)
・国土交通省 航空局「空港管理状況」(https://www.mlit.go.jp/koku/15_bf_000185.html)

【主な増減理由】

	対前年同期	通期見通しに対する進捗
営業収益	不動産販売業： プライム横須賀中央の引き渡し実施による販売戸数は増えたものの、前年同期の不動産事業用地の売却の反動により減 マンション分譲：162戸（対前年同期＋146戸） 不動産賃貸業： 横浜シンフォステージの稼働率上昇および新規賃貸マンションの稼働による増	不動産販売業： 一部の物件でマンション販売戸数が想定を下回って推移
営業利益	不動産賃貸業： 横浜シンフォステージ（2024.1Q開業）および新規賃貸マンションの減価償却費・経費の計上による減	－

（単位：百万円）

	2024年度 1 Q	2025年度 1 Q	増減額	増減率	通期見通し	進捗率
営業収益	16,573	12,173	△4,400	△26.6%	55,700	21.9%
不 動 産 販 売 業	11,748	7,221	△4,526	△38.5%	35,700	20.2%
不 動 産 賃 貸 業	4,825	4,951	＋125	＋2.6%	20,000	24.8%
営業利益	2,243	838	△1,404	△62.6%	6,100	13.7%
不 動 産 販 売 業	1,018	△158	△1,176	－	2,100	－
不 動 産 賃 貸 業	1,225	996	△228	△18.6%	4,000	24.9%

＜2025年度の主な引渡し物件＞

	当社シェア	総戸数	引渡し開始時期
①プライムパークス横浜並木ザ・レジデンス	60%	509戸	東敷地 2025年 3月 西敷地 2025年 5月
②プライム横須賀中央	100%	140戸	2025年 6月 (全戸契約済)
③プライム東神奈川	100%	59戸	2026年 3月
④パークタワー大森	50%	98戸	2026年 3月 (全戸契約済)



＜不動産回転型ビジネスの進捗＞

- 不動産事業戦略の強化に向けて、5月に三井住友信託銀行(株)および三井住友トラスト不動産投資顧問(株)と私募リート事業に関する基本協定を締結
- 遊休資産等の売却活動を実施
- 賃貸マンション計画用地の取得および不動産私募ファンドへの出資を実施

【主な増減理由】

	対前年同期	通期見通しに対する進捗
営業収益	ビジネスホテル業： 客室単価（+13.3%）上昇による増 レジャー関連施設業： ボートレース事業における施設賃貸料率の増加などによる増 レジャーその他： 広告収入の増加による増	ビジネスホテル業： 稼働率・客室単価が予想を上回ったことによる上振れ レジャー関連施設業： ボートレース事業における舟券売上の増加による上振れ
営業利益	ビジネスホテル業： 客室単価上昇および前年同期の「京急 E Xホテル みなとみらい横浜」開業費の反動による増	－

（単位：百万円）

	2024年度 1 Q	2025年度 1 Q	増減額	増減率	通期見通し	進捗率
営業収益	7,393	8,742	+1,349	+18.2%	32,700	26.7%
ビジネスホテル業	2,312	2,755	+443	+19.2%	9,800	28.1%
レジャー関連施設業	2,733	3,332	+599	+21.9%	11,900	28.0%
レジャーその他	2,347	2,653	+306	+13.0%	11,000	24.1%
営業利益	908	1,802	+894	+98.4%	3,700	48.7%
ビジネスホテル業	402	647	+244	+60.8%	1,000	64.7%
レジャー関連施設業	354	883	+529	+149.5%	1,900	46.5%
レジャーその他	152	272	+120	+78.8%	800	34.0%

<京急 E Xホテル・京急 E X イン客室稼働率>

	2024年度 1 Q	2025年度 1 Q	増減数
稼働率	87.2%	89.7%	+2.5pt.
	2025年 3月末	2025年 6月末	
客室数（室）	2,398	2,398	

※既存館の改修による閉館分を含む稼働率は85.9%

※改装休業中の館
高輪（163室）：2025年5月～2026年2月（予定）

【主な増減理由】

	対前年同期	通期見通しに対する進捗
営業収益	百貨店業・SC業： 前年同期の百貨店業における外商売上の反動による減 ストア業： 前年同期に子会社化した(株)エフ・クライミングの売上計上、前期に開業したS M およびC V Sの通年営業や既存店の客数好調による増	ストア業： S MおよびC V Sの客数および客単価好調による上振れ
営業利益	－	百貨店・SC業： 専門店化の推進に伴う人件費の減少による上振れ

(単位：百万円)

	2024年度 1 Q	2025年度 1 Q	増減額	増減率	通期見通し	進捗率
営業収益	18,341	20,900	+2,558	+14.0%	84,800	24.6%
百貨店・SC業	4,164	4,043	△120	△2.9%	16,300	24.8%
百貨店業	3,184	2,916	△268	△8.4%	11,800	24.7%
S C 業	979	1,127	+147	+15.1%	4,500	25.0%
ストア業	14,177	16,856	+2,679	+18.9%	68,500	24.6%
スーパーマーケット業	10,634	13,179	+2,545	+23.9%	54,350	24.2%
コンビニ・物販業ほか	3,542	3,677	+134	+3.8%	14,150	26.0%
営業利益	577	604	+26	+4.6%	1,700	35.5%
百貨店・SC業	327	311	△15	△4.8%	800	38.9%
百貨店業	155	115	△39	△25.5%	200	57.8%
S C 業	171	195	+23	+13.9%	600	32.6%
ストア業	250	292	+42	+16.9%	900	32.5%
スーパーマーケット業	36	67	+30	+81.8%	250	26.9%
コンビニ・物販業ほか	213	225	+12	+5.7%	650	34.7%

【主な増減理由】

	対前年同期	通期見通しに対する進捗
営業収益	完成工事の増加による増	完成工事の減少による下振れ
営業利益	－	－

(単位：百万円)

	2024年度 1 Q	2025年度 1 Q	増減額	増減率	通期見通し	進捗率
営業収益	7,273	7,802	+529	+7.3%	52,700	14.8%
営業利益	0	125	+125	－	2,400	5.2%

(単位：百万円)

		2024年度				2025年度	
		1 Q (4月～6月)	2 Q (7月～9月)	3 Q (10月～12月)	4 Q (1月～3月)	1 Q (4月～6月)	1 Q対4 Q
交 通 事 業	営 業 収 益	29,581	29,764	30,022	29,162	30,224	－
	営 業 利 益	4,872	6,832	5,241	1,931	5,095	鉄道事業の修繕工事の4 Q集中の反動増
不 動 産 事 業	営 業 収 益	16,573	7,131	7,940	22,319	12,173	分譲マンション販売戸数の減（△74戸）
	営 業 利 益	2,243	1,119	571	2,993	838	
レ ジ ャ ー ・ サ ー ビ ス 事 業	営 業 収 益	7,393	7,721	8,378	8,210	8,742	ポートレース事業における施設賃貸料率の増加
	営 業 利 益	908	1,370	1,648	1,018	1,802	
流 通 事 業	営 業 収 益	18,341	20,864	21,839	20,206	20,900	－
	営 業 利 益	577	384	698	424	604	
そ の 他	営 業 収 益	7,273	9,714	10,447	20,899	7,802	完成工事の4 Q集中の反動減
	営 業 利 益	0	546	301	2,797	125	
営 業 収 益		72,860	68,097	70,228	82,674	73,118	
営 業 利 益		8,709	10,291	8,355	8,286	8,532	
経 常 利 益		8,523	9,810	7,465	9,173	7,882	4 Qの投資有価証券売却益計上の反動減
親会社株主に帰属する 四 半 期 純 利 益		6,895	6,768	5,037	5,599	5,425	
鉄 道 旅 客 運 輸 収 入	定 期	7,337	7,327	7,153	7,096	7,459	
	定 期 外	12,973	12,975	13,447	13,161	13,341	
	合 計	20,311	20,303	20,600	20,257	20,801	

(単位：百万円)

	2024年度 1Q	2025年度 1Q	増減額	主な内訳
営業外収益	851	897	+46	受取配当金 370 (対前年同期 +149)
営業外費用	1,037	1,547	+509	
特別利益	174	225	+51	
特別損失	1,454	244	△1,209	固定資産除却損 109 (対前年同期△786) 事業譲渡損 - (対前年同期△390)

連結貸借対照表（概要）

(単位：百万円)

	2025年 3月末	2025年 6月末	増減額	主な増減理由
流動資産	191,544	186,181	△5,362	投資有価証券： ・保有銘柄の評価額の上昇
現金及び預金	74,454	68,346	△6,108	
分譲土地建物	71,070	72,145	+1,075	
固定資産	848,164	864,384	+16,220	
有形固定資産	675,437	680,718	+5,281	
投資その他の資産	163,200	174,247	+11,046	
投資有価証券	114,136	125,651	+11,514	
資 産 合 計	1,039,708	1,050,566	+10,857	
負債合計	667,121	672,308	+5,187	
有利子負債残高（注）	474,299	492,295	+17,995	
純資産合計	372,587	378,257	+5,670	
負 債 純 資 産 合 計	1,039,708	1,050,566	+10,857	
(注) 社債、借入金の合計額				
純有利子負債残高	399,844	423,949	+24,104	
自己資本比率	35.7%	35.9%	+0.2pt.	

I . エグゼクティブ・サマリー	P. 3
II . 2026年3月期 第1四半期決算実績	P. 5
III . 2026年3月期 業績予想（変更なし・再掲）	P. 20
Appendix - 京急品川開発プロジェクトの進捗	P. 29

営業利益：鉄道の移動需要増加による増収要素はあるものの、人件費や経費の増加が大きく、減益予想

(単位：億円)

	2024年度	2025年度			増減額	増減率
		通期予想	上期予想	下期予想		
営業収益	2,938	3,050	1,415	1,635	+111	+3.8%
営業利益	356	300	165	135	△56	△15.8%
経常利益	349	245	145	100	△104	△29.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	243	233	90	143	△10	△4.1%

【重要経営指標】

(単位：億円)

	2024年度	2025年度	増減額		2024年度	2025年度	増減額
設備投資額 ※ (うち、不動産流動化SPC出資)	880 (124)	1,421 (128)	+541 (+4)	R O E	6.7%	6.2%	△0.5pt.
減価償却費	285	294	+8	純有利子負債／ EBITDA倍率	6.1倍	7倍台以下	—
1株当たり当期純利益	88.40円	84.77円	△3.63円				

※ 工事負担金等（2024年度136億円、2025年度178億円）を含む

（単位：億円）

		2024年度	2025年度	増減額	増減率
交 通 事 業	営 業 収 益	1,185	1,210	+24	+2.1%
	営 業 利 益	188	169	△19	△10.5%
不 動 産 事 業	営 業 収 益	539	557	+17	+3.2%
	営 業 利 益	69	61	△8	△12.0%
レ ジ ャ ー ・ サービス事業	営 業 収 益	317	327	+9	+3.1%
	営 業 利 益	49	37	△12	△25.2%
流 通 事 業	営 業 収 益	812	848	+35	+4.4%
	営 業 利 益	20	17	△3	△18.4%
そ の 他	営 業 収 益	483	527	+43	+9.0%
	営 業 利 益	36	24	△12	△34.2%

(単位：億円)

	2024年度	2025年度	増減額	増減率	備考
営業収益	1,185	1,210	+24	+2.1%	【鉄道事業】 定期・定期外の旅客需要の増加 【バス事業】 運賃改定による増
鉄 道 事 業	839	855	+15	+1.9%	
バ ス 事 業	308	316	+7	+2.5%	
タクシー事業	37	39	+1	+4.2%	
営業利益	188	169	△19	△ 10.5%	【鉄道事業】 人件費・修繕工事費・経費の増加（約20億円） 【バス事業】 人件費・燃料費等の増加
鉄 道 事 業	166	150	△16	△ 9.9%	
バ ス 事 業	24	20	△4	△ 16.8%	
タクシー事業	△ 1	△1	+0	－	

<鉄道事業 主な営業費>

(単位：億円)

	(参考) 2024年度	2025年度	増減額
人件費	194	204	+10
電気動力費	48	50	+1
修繕工事費	55	61	+5
固定資産除却費	8	10	+1
減価償却費	171	170	△0

＜鉄道事業の輸送人員・旅客運輸収入の内訳＞

(単位：百万人)

	輸送人員			
	2024年度	2025年度	増減額	増減率
定期	227	231	+3	+1.5%
定期外	218	223	+5	+2.3%
合計	445	454	+8	+1.9%

(単位：億円)

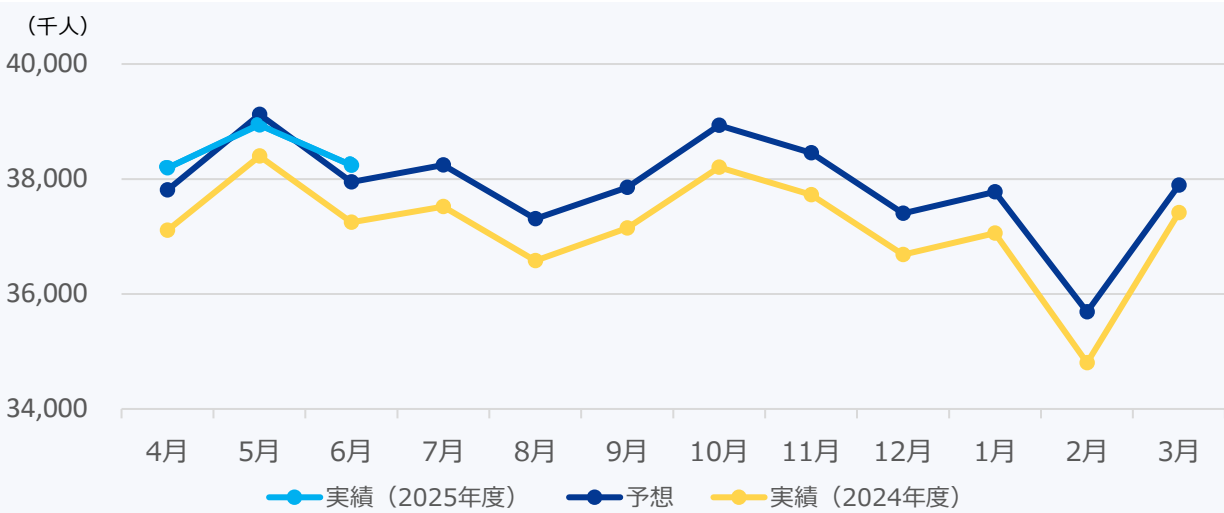
	旅客運輸収入			
	2024年度	2025年度	増減額	増減率
定期	289	294	+5	+1.9%
定期外	525	535	+10	+2.0%
合計	814	830	+15	+1.9%

＜羽田空港 2 駅合計の輸送人員＞

(単位：百万人)

	輸送人員			
	2024年度	2025年度	増減額	増減率
羽田空港第 1・第 2 ターミナル駅	40	42	+1	+4.7%
羽田空港第 3 ターミナル駅	13	14	+1	+9.8%
合計	53	56	+3	+6.0%

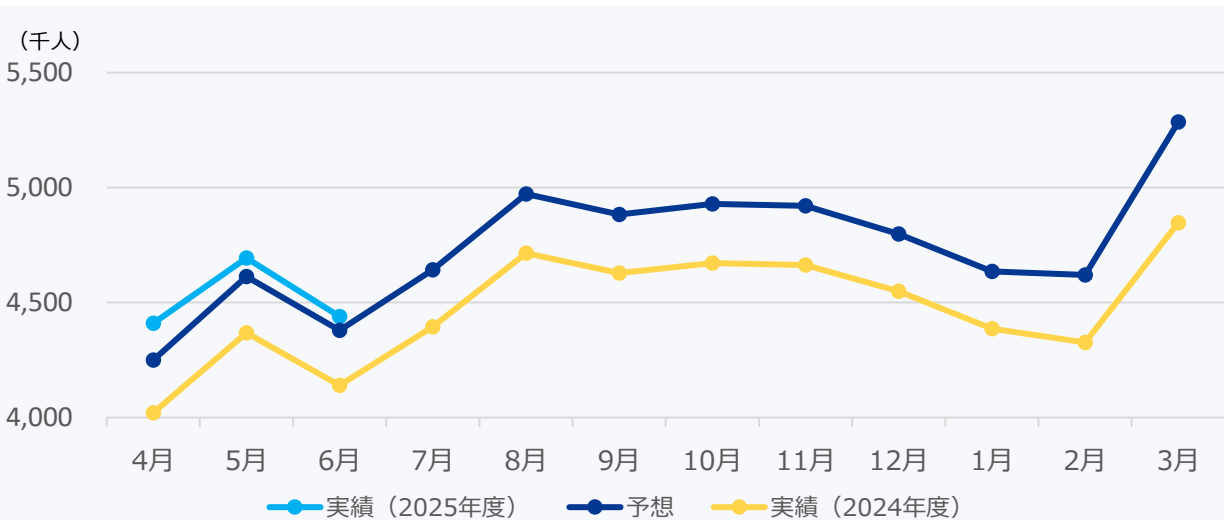
＜全線輸送人員の予想推移＞



＜全線合計の予想（対前年）＞

(単位：％)			
	2025年度 上期予想	2025年度 下期予想	2025年度 通期予想
定 期	+ 2 %	+ 2 %	+ 2 %
定 期 外	+ 2 %	+ 2 %	+ 2 %
合 計	+ 2 %	+ 2 %	+ 2 %

＜羽田空港 2 駅の輸送人員の予想推移＞



＜羽田空港 2 駅の予想（対前年）＞

(単位：％)			
	2025年度 上期予想	2025年度 下期予想	2025年度 通期予想
羽 田 空 港 2 駅	+ 6 %	+ 6 %	+ 6 %

（単位：億円）

	2024年度	2025年度	増減額	増減率	備考
営業収益	539	557	+17	+3.2%	【不動産販売業】 マンション販売戸数の増加 【不動産賃貸業】 横浜シンフォステージの収入増
不動産販売業	346	357	+10	+3.2%	
不動産賃貸業	193	200	+6	+3.3%	
営業利益	69	61	△8	△12.0%	【不動産販売業】 マンションの売上原価および広告宣伝費等の増加による減 【不動産賃貸業】 新規物件の竣工に伴う減価償却費の増加による減
不動産販売業	28	21	△7	△27.3%	
不動産賃貸業	40	40	△0	△1.0%	

＜2025年度主な引渡し開始物件＞

	総戸数	引渡し開始時期 （予定）
プライムパークス横浜並木ザ・レジデンス（西敷地）	310戸	2025年 5 月
プライム横須賀中央	140戸	2025年 6 月
プライム東神奈川	59戸	2026年 3 月
パークタワー大森	98戸	2026年 3 月

(単位：億円)

	2024年度	2025年度	増減額	増減率	備考
営業収益	317	327	+9	+3.1%	【ビジネスホテル業】 稼働率予想：88.7% ※一部既存館の改修による閉館分を含むと81.6% A D R 想定：対前年 約+0.2% ※前年6月 みなとみらい横浜開業
ビジネスホテル業	101	98	△3	△3.8%	
レジャー関連施設業	116	119	+2	+1.7%	
レジャーその他	98	110	+11	+12.0%	
営業利益	49	37	△12	△25.2%	【レジャー・サービス事業】 人件費の増加による減
ビジネスホテル業	20	10	△10	△51.9%	
レジャー関連施設業	19	19	△0	△3.4%	
レジャーその他	8	8	△0	△11.0%	

<稼働率の推移（改修による閉館分を除く）>

	上期	下期	通期
2025年度予想	88.0%	89.4%	88.7%

※一部既存館（高輪、横浜駅東口）の改修による閉館分を含むと通期予想は稼働率81.6%

■ 流通事業

(単位：億円)

	2024年度	2025年度	増減額	増減率	備考
営業収益	812	848	+35	+4.4%	【百貨店・SC業】 前期の百貨店における外商売上の反動減 【ストア業】 前期に子会社化した(株)エフ・クライミングの決算期変更による増 (2024年度：9か月分 2025年度：13か月分)
百貨店・SC業	166	163	△3	△2.0%	
百貨店業	126	118	△8	△6.5%	
SC業	40	45	+4	+12.0%	
ストア業	646	685	+38	+6.0%	
スーパーマーケット業	500	543	+43	+8.6%	
コンビニ・物販業ほか	145	141	△4	△2.9%	
営業利益	20	17	△3	△18.4%	【ストア業】 人件費等の増加による減
百貨店・SC業	8	8	△0	△10.5%	
百貨店業	3	2	△1	△33.8%	
SC業	5	6	+0	+1.4%	
ストア業	11	9	△2	△24.4%	
スーパーマーケット業	3	2	△0	△27.6%	
コンビニ・物販業ほか	8	6	△1	△23.1%	

■ その他事業

(単位：億円)

	2024年度	2025年度	増減額	増減率	備考
営業収益	483	527	+43	+9.0%	完成工事の増加
営業利益	36	24	△12	△ 34.2%	人件費の増加、京急自動車学校の譲渡による減

I . エグゼクティブ・サマリー	P. 3
II . 2026年3月期 第1四半期決算実績	P. 5
III . 2026年3月期 業績予想（変更なし・再掲）	P. 20
Appendix - 京急品川開発プロジェクトの進捗	P. 29

「京急品川開発プロジェクト」本格始動

- 5月に「（仮称）品川駅西口地区A地区（高輪3丁目）新築計画」を着工。
- プロジェクト始動にあたり、日本屈指の交通結節点である品川駅周辺エリアの将来像を「こころと世界を動かすつながりの湊」と定めた。
- 品川開発コンセプトには「WEL - COME & GO !」を掲げ、新しいまちづくりを推進し、将来像の実現を目指す。

▶ 京急電鉄が描く、品川の将来像

こころと世界を動かす つながりの湊

将来像を実現するための3つの方針

【方針1】

「五感に魅せる体験」からしあわせを生むまち

【方針2】

新しい発想や遊び心につながる「思いがけない出会い」があるまち

【方針3】

小さな想いを集め「社会を良くする仕組みづくり」を導くまち

京急グループによる取り組みに限らず、共感いただいた協力者（パートナー）とともに、将来像の実現を目指す。

▶ 品川開発コンセプト

WEL-COME & GO!

▶ 高輪3丁目工事状況



▶ 外観イメージ





【ご注意】

この資料に記載の情報のうち、過去の事実以外のものは将来の見通しであり、発表時点において想定した各種前提条件を基に作成しております。こうした記載情報は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を含むものです。実際の業績は、様々な要因によって異なる結果となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

【お問い合わせ先】

経営戦略室 IR担当

Tel 045-225-9396

E-mail ir-keikyu_t7z@keikyu-group.jp